

# ジャンボタニシによる被害が多発しています！

令和5年は田植時期の気温が高かったため、平年よりも早くジャンボタニシの活動が始まり、**食害が多発しています。**

移植された苗を食害から守るため、**適切な水管理**等の対策をお願いします。

## 対策① 浅水管理

- ・移植後約3週間は**水深を4 cm以下**に維持することにより、貝の活動を制限できます。

## 対策② 薬剤散布

- ・ジャンボタニシが集まりやすい**水田の周縁部や水深が深い場所に重点的に薬剤を散布**します。  
(例：メタアルデヒド粒剤、燐酸第二鉄粒剤)
- ・薬剤の効果を実に発揮させるために、散布後3～4日間は湛水を維持し、7日間は落水させないようにします。
- ・農薬の散布に当たっては、散布期限内の薬剤をラベルの表示に従って使用してください。



ジャンボタニシの成貝  
(農林水産省HPから引用)



ジャンボタニシの食害を受けた水田  
(令和5年 飛島村内)

## 参考

スクミリンゴガイ（ジャンボタニシ）の被害防止対策について  
(農林水産省HP)

<https://www.maff.go.jp/j/syouan/syokubo/gaicyu/siryoku2/sukumi/sukumi.html>

